

経営後継者研修だより

CONTENTS

自社沿革・経営理念分析の成果発表が行われました。

経営後継者研修では、全8分野にわたる自社分析があり、各分析の締めくくりには成果発表が行われます。

本日は、開講前から10月末まで取り組んできた、自社沿革・経営理念分析（以下、当分析）の成果発表が行われました。

当分析は、自社分析の中で最も重要な分析と位置付けられており、研修の最初に行われます。財務や人材といった経営資源を分析するのではなく、まずは自社と歴代経営者の歴史を紐解いて、自社の成長の背景、歴代経営者の志、思い等に触れます。この分析により研修生は、自社のすべての事には理由があり、現状が当たり前ではないことを知ります。その結果、自社をより肯定的に受け止められるようになり、歴代経営者や従業員への感謝、自身への期待を再認識するようになります。まずは後継者として、自社への態度や認識を改め、事業承継の大前提となる『経営を受け継ぐこと』に対して前向きな気持ちを整えることが当分析のねらいです。

初めての発表で、研修生は緊張感でいっぱいでしたが、発表の経験を重ねることで、どなたも堂々と人前で話せるようになります。研修最後のゼミナール論文発表会（7月）では、その成長度合いに派遣元企業代表者も大変驚かれます。

次回は、業務プロセス分析実習（11月6日～15日）の様様についてお伝えします。



写真は広報委員の奥谷さん(左上)、田中さん(右下)。プレゼンテーションスキルは経営者にとって、必要なスキルです。

第39期生広報委員の奥谷さん、田中さんに当分析についての気づきと発表の感想について伺いました。

初めての自社分析という事もあり、試行錯誤しながらの資料作成となった。作成過程ではこれまで勉強してきた知識を盛り込み過ぎたものの、ゼミナール等でアドバイスをもらい軌道修正する事ができた。今回の自社分析では経営者の思い、自社の成長要因などを改めて見つめ直す良い機会になったと思う。研修生同士で発表練習会を行い、互いに切磋琢磨できたり、他の研修生の発表を通じて様々な業界の知識を得られることも、この研修ならではの大きな学びだと思う。[(株)イマック 奥谷 奈生]

沿革・経営理念は、いわば「会社の魂」と言えるものです。自社が「社会とどう関わるのか」「どんな価値を提供するのか」を伝える上で最も大切なものであり、自社がなぜ存在しているのかを感じ取ることができ、新たな発見も多く、実りある経験となりました。また他の方の発表を聞き、自分とは違った切り口で分析を行っていたり、発表に際してはグラフや写真にも十人十色の工夫が見られ、非常に参考となりました。話し方に関しては自身の弱点である早口を克服していく糧となりました。[(株)田中組 田中 一成]

INFORMATION

東京校 企業研修課からのお知らせ

◆第40期経営後継者研修（2019年10月開講）の募集パンフレットが出来ました。

ご希望の方は、以下のフォーマットに記載のうえ、FAXまたはEメール添付でお送りください（無料）。

[「第40期経営後継者研修パンフレット送付依頼フォーマット」](#)

（上記をクリックすると、Wordファイルのダウンロードを開始します。）

◆12月11日（火曜）開催 経営者・後継者のための事業承継セミナー&東京校見学会のご案内
経営後継者研修の受講をご検討されている方のご参加をお待ちしております。[詳細はこちら](#)